令和3年度 第1回 安倍川水系流域委員会 【安倍川水系河川整備計画の点検】

令和3年10月1日

国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所

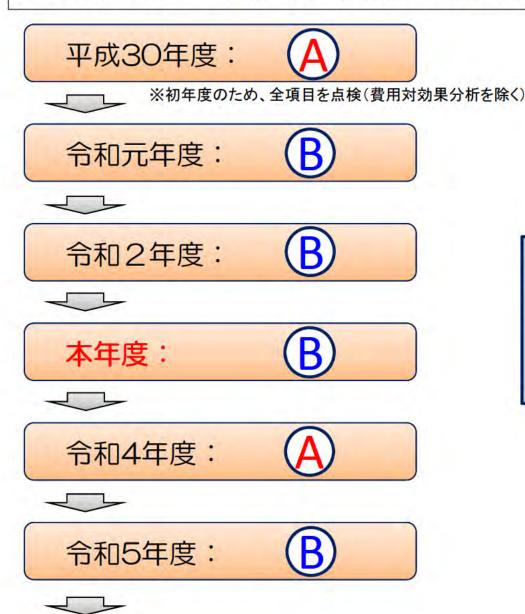
目次

1.	本会議の位置で	づけ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	•		2
2.	事業の進捗状況	₹ •	-	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
3.	事業の見通し・		-	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	18
4.	今後の進め方・	-	•	•	•	•	-	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	-	-	•	•		23

1. 本会議の位置づけ

河川整備計画の点検イメージ

- 原則として、河川整備計画の点検(レビュー)は毎年開催。
- 再評価を受ける5年に一回の年は、全項目を点検報告。
- そのほかの年(4回)は、現場視察と事業の進捗状況、トピックス等を報告。B



1. 流域の社会情勢の変化



- ・ 土地利用の変化
- 人口・資産の変化
- 近年の災害発生の状況等
- 2. 地域の意向
 - ・ 地域の要望事項等



- 3. 事業の進捗状況
 - 事業完了箇所
 - 事業中箇所の進捗状況等
- 4. 事業進捗の見通し
 - 当面の段階的整備の予定等
- 5. 河川整備に関する新たな視点
 - ・水防災意識社会再構築ビジョン
 - 地震 津波対策等
- 6. 点検結果
 - ・点検結果まとめ
 - 今後の進め方

2. 事業の進捗状況

(1) 治水事業の進捗状況

● 安倍川では昭和54年10月洪水を安全に流下させるため、堤防整備、堤防強化を重点的に進めている。

進捗率

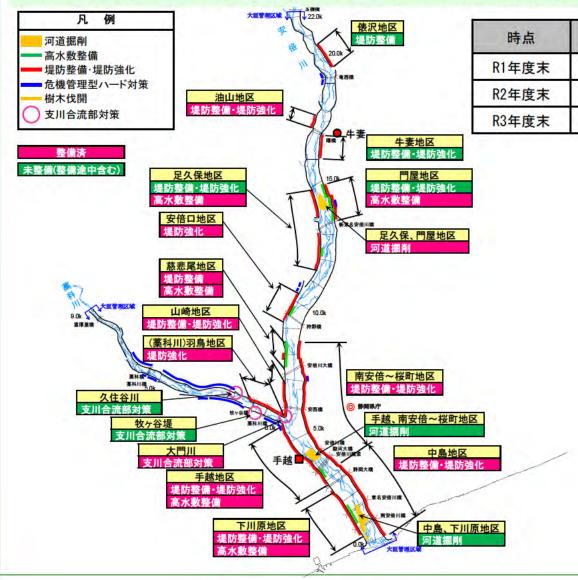
68%

73%

77%

洪水対策

・ 河川整備計画に基づく事業の進捗率は事業費ベースで約77% (令和3年度時点)となっている。





R2安倍川藁科川築堤護岸工事(13.50k付近)



R2安倍川下流部河道掘削工事(2.00k付近)

(1) 治水事業の進捗状況

堤防整備

- 令和2年度末時点(令和3年3月時点)では、堤防必要区間52.1kmに対し、計画断面堤防区間が76.1%、暫定断面堤防区間が23.9%となっている。
- 平成20年3月の河川整備計画策定時から計画断面堤防は約16.1%増加しているものの、堤防が整備されていない区間が23.9%残されていることから、今後も引き続き事業を推進し、洪水に対する安全性を確保する。

表 堤防の整備状況(令和2年	- 度末時点)
----------------	---------

	担性义严厉8877.5	計画断面	堤防区間	暫定断面堤防区間			
	堤防必要区間延長 (km)	延長 (km)	率 (%)	延長 (km)	率 (%)		
策定時	50.4	32.3	60.0	14.1	26.0		
現況	52.1	39.6	76.1	12.5	23.9		

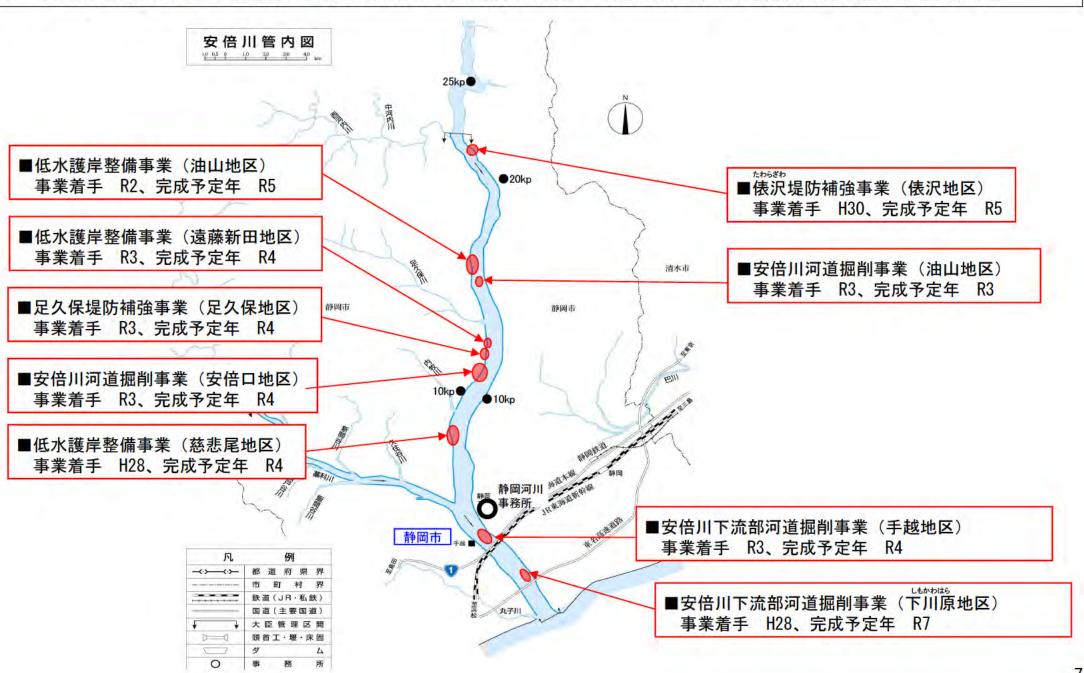


R2安倍川俵沢周辺堤防整備工事 整備前(21.50k左岸付近)



R2安倍川俵沢周辺堤防整備工事 整備後(21.50k左岸付近)

今年度の事業としては、整備計画目標の達成のため、堤防強化事業、河道掘削事業、河岸防護施設整備事業等を実施中。



俵沢堤防補強事業【俵沢(たわらざわ)地区】

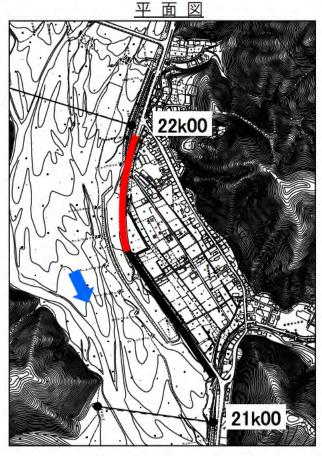
上流部における堤防の高さ・断面不足箇所であり、本地区の整備により整備計画流量を満足に流下させることが可能となる。

安倍川俵沢地区航空写真

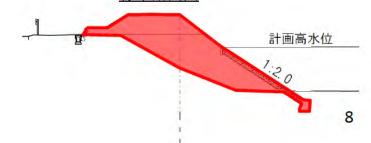




整備内容	未整備区間延長 (km)	整備完了区間延長 (km)	進捗率
堤防整備	19.8km	7.3km	37%

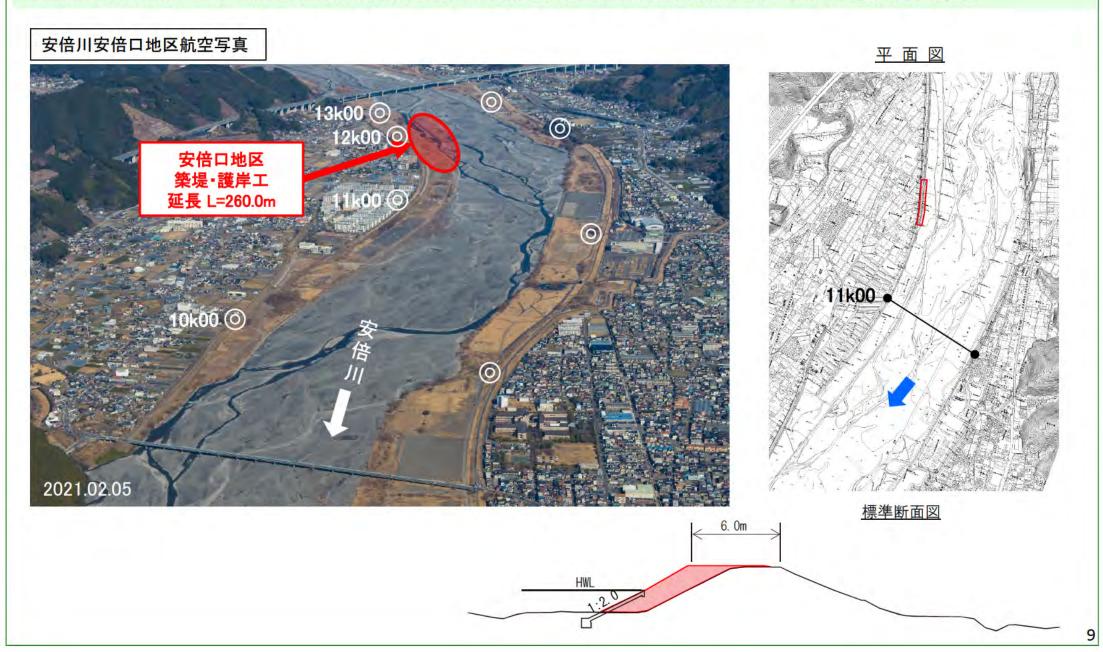


標準断面図



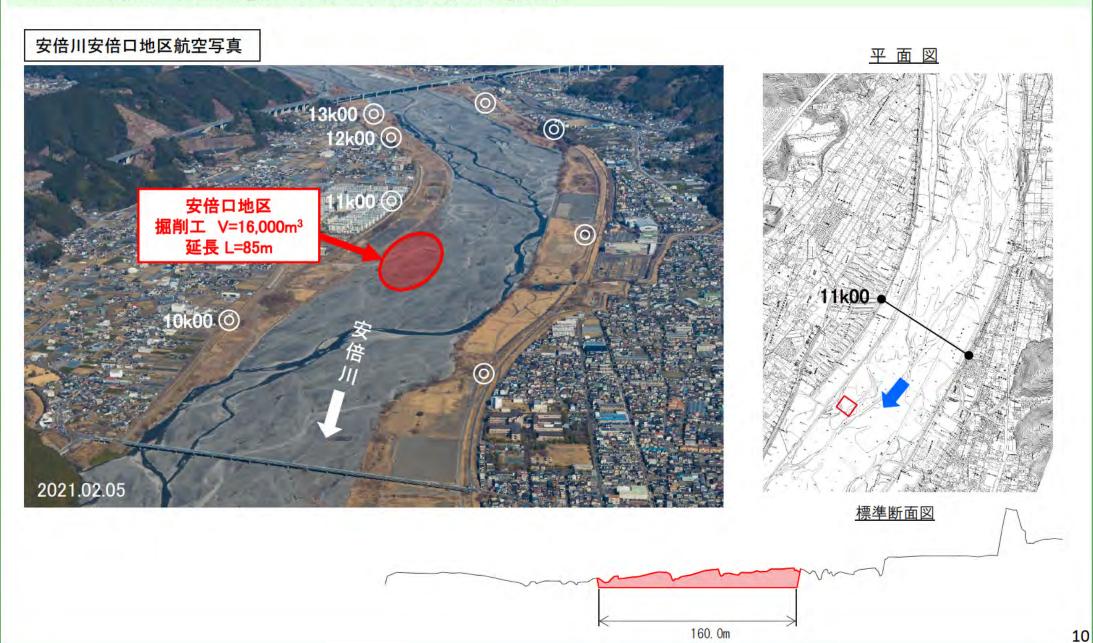
安倍口堤防補強事業【安倍口(あべぐち)地区】

上流部における堤防の高さ・断面不足箇所であり、本地区の整備により整備計画流量を満足に流下させることが可能となる。



安倍川河道掘削事業【安倍口(あべぐち)地区】

河道内の土砂掘削により水位を低下させ、洪水流の安全な流下を図る。



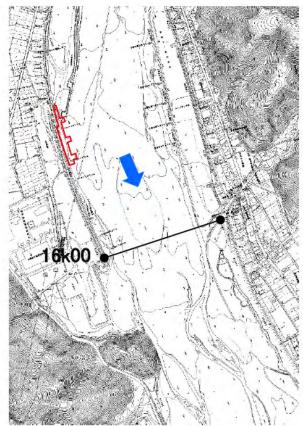
低水護岸整備事業【油山(ゆやま)地区】

急流土砂河川であることに対応して洗堀・侵食対策のための堤防強化を図る。

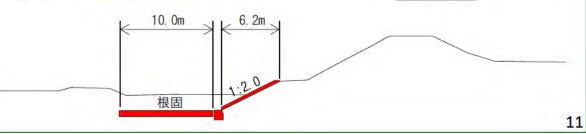
安倍川油山地区航空写真



平面図



標準断面図



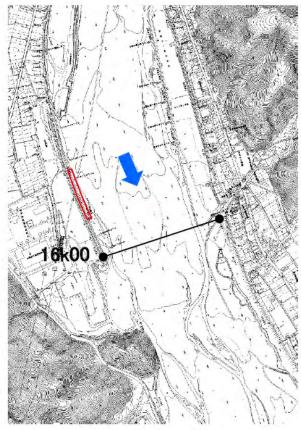
低水護岸整備事業【油山(ゆやま)地区】

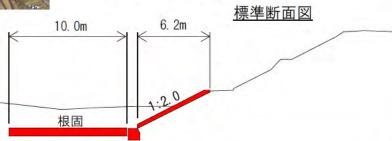
急流土砂河川であることに対応して洗堀・侵食対策のための堤防強化を図る。

安倍川油山地区航空写真



平面図

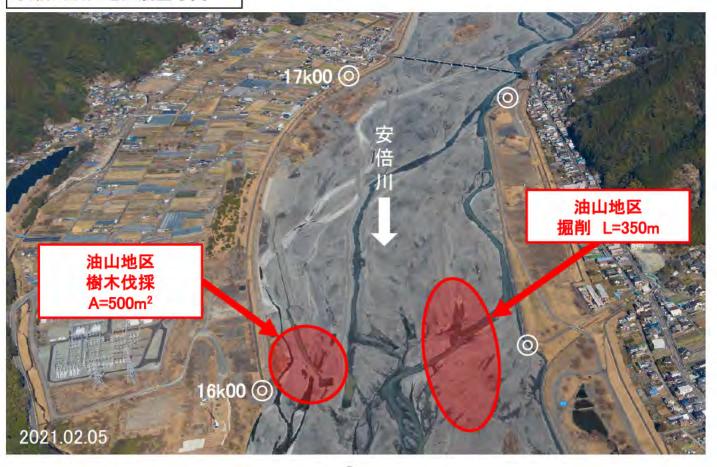




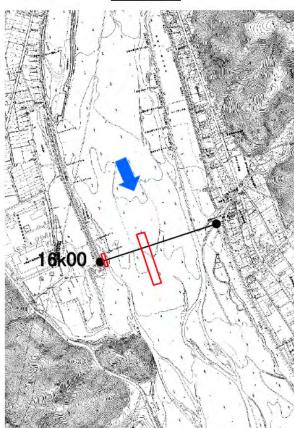
安倍川河道掘削事業【油山(ゆやま)地区】

河道内の土砂掘削により水位を低下させ、洪水流の安全な流下を図る。

安倍川油山地区航空写真



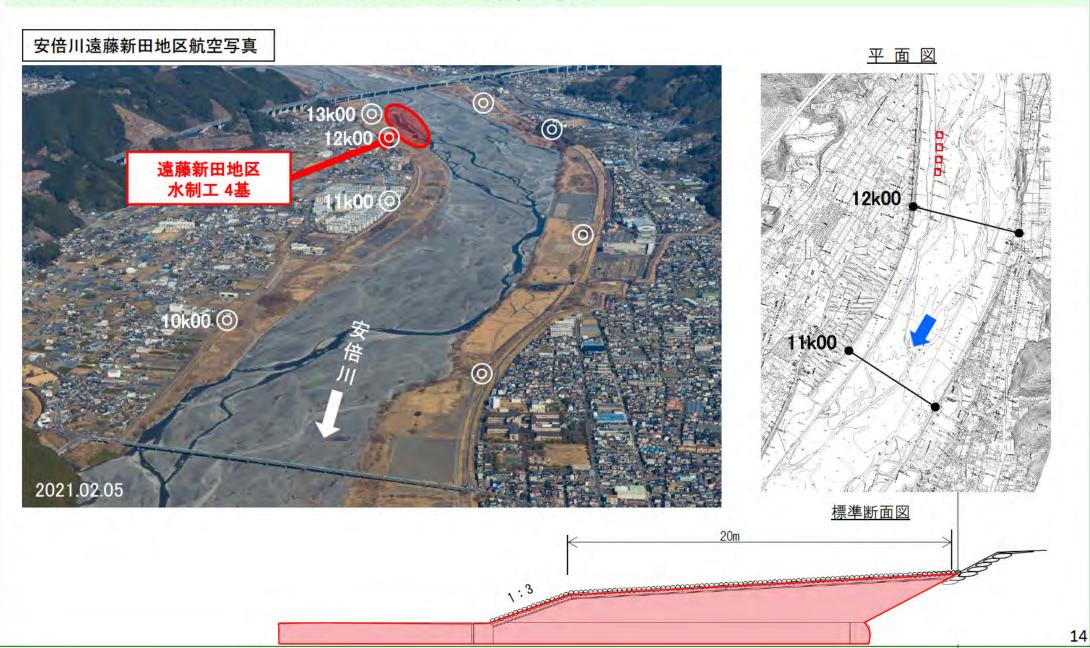
平面図



標準断面図

低水護岸整備事業【遠藤新田(えんどうしんでん)地区】

急流土砂河川であることに対応して洗堀・侵食対策のための堤防強化を図る。



低水護岸整備事業【慈悲尾(しいのお)地区】

繰り返し発生する中小洪水での洗掘・侵食の作用に対し、巨石付き盛土砂州により洪水流を河岸から離すことで、護岸の機能確保や侵食による構造物への被害軽減を図る。

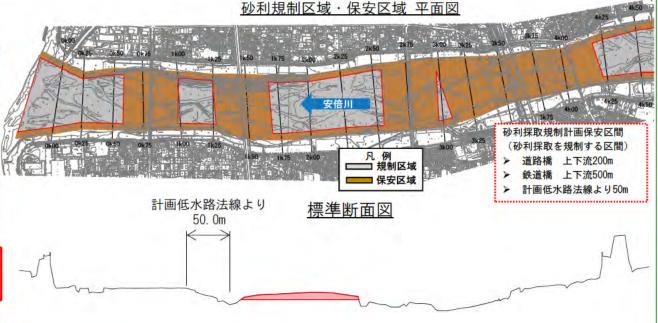


安倍川下流部河道掘削事業【手越(てごし)地区】

- ・河積不足により整備計画流量を満足に流せないため、河道掘削を行う。
- ・掘削にあたっては瀬や淵の保全したうえで偏流の要因となる砂州の掘削を行い流下能力の向上を図る。
- ・砂利採取による河道掘削もしているが、河川管理の観点から砂利採取を規制している保安区間における河道掘削は、河川管理者が実施。

安倍川河口部航空写真





希少種(ミミズハゼ類)への配慮

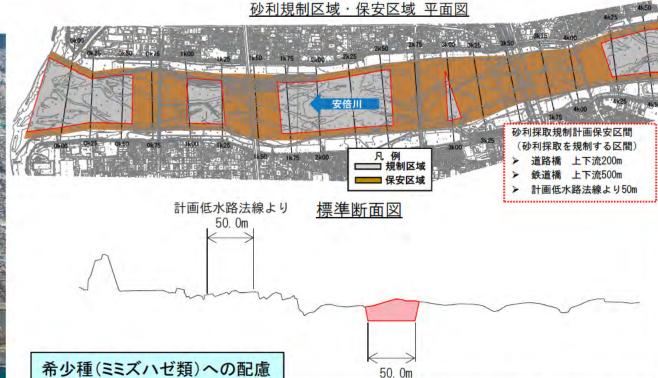
ミミズハゼ類は、石や砂利、砂粒の間などに生息している。このため、平常時における濁水に起因するシルトなどの堆積による生態への影響が大きいため以下の対策 を実施している。

- ・掘削の際は流水への作業を極力おさえ、濁水の発生を抑える
- ・施工中は、濁度とpHについて現場管理値を設定し管理する
- ・工事用道路は最小限にとどめ、踏み固められた箇所は施工完了後に解す
- ・澪筋を渡る場合は、仮橋等で渡河し、濁水の発生を抑制する

等

安倍川下流部河道掘削事業【下川原(しもかわはら)地区】

- ・河積不足により整備計画流量を満足に流せないため、河道掘削を行う。
- ・掘削にあたっては瀬や淵の保全したうえで偏流の要因となる砂州の掘削を行い流下能力の向上を図る。
- ・砂利採取による河道掘削もしているが、河川管理の観点から砂利採取を規制している保安区間における河道掘削は、河川管理者が実施。



ミミズハゼ類は、石や砂利、砂粒の間などに生息している。このため、平常時における濁水に起因するシルトなどの堆積による生態への影響が大きいため以下の対策 を実施している。

- ・掘削の際は流水への作業を極力おさえ、濁水の発生を抑える
- ・施工中は、濁度とpHについて現場管理値を設定し管理する
- ・工事用道路は最小限にとどめ、踏み固められた箇所は施工完了後に解す
- ・澪筋を渡る場合は、仮橋等で渡河し、濁水の発生を抑制する

等

3. 事業の見通し

(1) 今後の事業予定

- 直近の予定としては、5か年の緊急対策である河道掘削及び堤防整備を鋭意推進。
- 俵沢の堤防整備が完成すると、整備計画流量を流下させるための堤防整備は概ね完了するため、今後は侵食対策及び藁科川にお ける支川との合流点対策に着手予定。

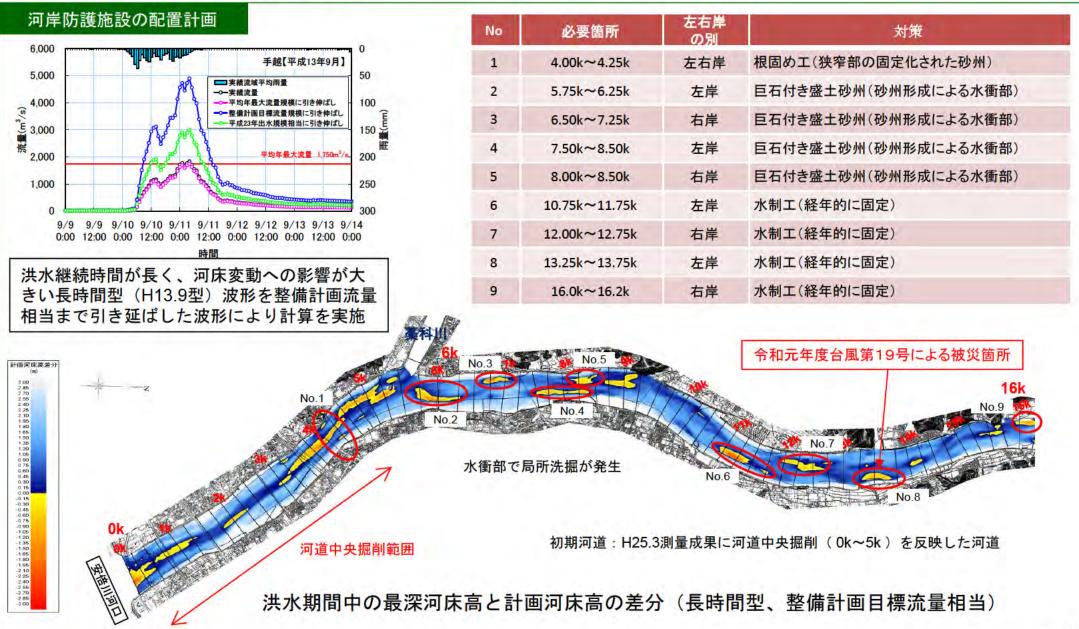






(2) 今後の事業予定(河岸防護施設の整備)

- 平面二次元河床変動計算により、掘削河道における河床変動状況を把握し、河岸沿いでの洗掘状況等から対策必要箇所を検討
- 箇所ごとの特性を踏まえ、対策工法を検討



(2) 今後の事業予定(河岸防護施設の整備)

工法	効果	想定される影響
根固工	洗掘防止効果	下流部の洗掘・侵食を助長
水制工	水はね効果 河岸防護効果	対岸への影響
巨石付き盛土砂州	水はね効果(やわらかに流れを制御) 河岸防護効果	変形を許容した構造であるため、洪水後の変化を継続的にモニタリング

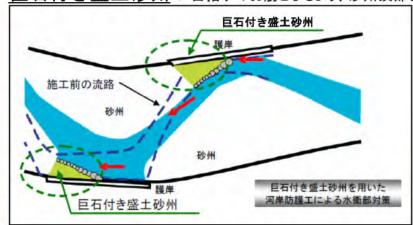
水制工



根固工



<u>巨石付き盛土砂州</u>: 目指すみお筋となるよう、砂州頂部を巨石により防護した盛土を設置し、主流を滑らかに河道中央に誘導する対策工



出典:治水と環境の調和した新たな河岸防護技術の手引き



安倍川左岸8k(試験施工)



安倍川右岸8.5k(試験施工)

(2) 今後の事業予定(河岸防護施設の整備)

河岸防護対策施設の整備は以下のとおり実施していくことを予定。

河岸防護施設の配置計画

No	対策必要箇所	対策工法	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	4.00k~4.25k (左右岸)	根固工											
2	5. 75k~6. 25k (左岸)	砂州										-	
3	6.50k~7.25k(右岸)	砂州											1
4	7.50k~8.00k(左岸)	砂州		施工済み									
5	8.00k~8.50k (右岸)	砂州			施工済み				施工中				
6	10.75k~11.75k(左岸)	水制工											
7	12.00k~12.75k(右岸)	水制工							施工中				
8	13. 25k~13. 75k(左岸)	水制工				施工済み	施工済み	施工済み					
9	16.00k~16.20k(右岸)	水制工											

※被災を受けた箇所を優先して施工し、そこから下流へ向けて順次施工を予定(水衝部が下流へ伝播すると想定)

: 施工済み

: 施工予定(施工中を含む)

4. 今後の進め方

安倍川水系流域委員会 今後のスケジュール

- 河川整備計画内容の点検の実施は、毎年審議
- 事業の再評価の審議は、5年以内に1度の審議、事後評価の審議は、完成後5年以内の審議

